

# 令和4年度予算の概要

## 予算編成の基本的な考え方

### はじめに

国の新年度予算案は、一般会計の総額が107兆5,964億円（対前年度9,867億円、0.9%増）で、新型コロナウイルス対策や「新しい資本主義」の実現、社会保障などの関係費が膨らみ、4年連続で100兆円を超えるました。税収は、企業業績の改善により13.6%増の65兆2350億円と、過去最高額を見込み、歳入不足を補う新規国債発行額は15.3%減の36兆9260億円で、2年ぶりに減少に転じています。

令和3年度補正予算と一体として編成する「16か月予算」と位置づけ、新型コロナウイルス感染症への対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現に向けた予算とされています。

一方、地方財政については、社会保障関係費の増加が見込まれる中、地方が地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防・防災力の一層の強化等に取り組みつつ、地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和3年度地方財政計画と実質的に同水準となるよう、地方交付税等の一般財源総額について、水準超経費を除く交付団体ベースで、62兆135億円（対前年度203億円、0.0%増）、地方交付税は18兆538億円（対前年度6,153億円、3.5%増）が確保されました。

### 基本方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼすとともに、行政のデジタル化の遅れや医療インフラなど様々な課題を浮き彫りにしました。一方でテレワークやEC市場の拡大など、地方創生の加速化につながるような働き方や生活様式の変化をもたらしています。

土岐市では、新たな変異株「オミクロン株」の拡大も視野に入れ、継続して状況に応じたコロナ対策を講じるとともに、将来への投資として、今後の社会変容を見据えた新しい成長の基礎を築いていく必要があります。

また、コロナ禍において明らかとなった課題や変化をはじめ、グリーン成長の機運の高まりやデジタル化の加速といった時代の潮流を踏まえ、第6次総合計画に掲げるまちの将来像「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」の実現に向け「支え合い安心できる暮らしづくり」、「環境と調和したにぎわいづくり」、「豊かな心と文化を育む人づくり」、「安全で快適な暮らしを支える基盤づくり」、「協働の仕組みづくり」の5つの基本目標に沿った施策を展開します。その施策にメリハリをつけるため、市長公約である、「愛着のもてるまちづくり」、「地域を支えるひとづくり」、「地域住民のいきがいづくり」を3つの柱とし予算を編成しました。

### 重点分野

第6次総合計画・市長公約に基づき、令和2年度から重点分野として位置付けている「読書に親しむまち土岐市 読書推進事業」と「全世代健康寿命延伸事業 ときげんきプロジェクト」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しつつ、定着に向けて取り組んできたところです。令和4年度も引き続き重点分野として位置付け、「新たな日常」へも対応しつつ、これまでの活動をさらに加速させます。

また、土岐市や美濃焼の歴史を深掘りした知の拠点として整備を進める「文化財保存活用拠点（仮称）整備事業」、地域医療提供体制を確保するための「東濃中部地域の新病院建設」に加え、子育て支援施策を拡充するための「地域子育て支援拠点事業」、地域のにぎわい創出の拠点となる「レクリエーションゾーン基本構想・基本計画策定事業」、2050年のカーボンニュートラルの達成に向けた「脱炭素化事業」、市民の利便性向上と業務の効率化のための「デジタル化推進事業」など、未来を見据えた、人と暮らし、環境に対する投資により、潤いある暮らし、愛着と誇りのもてるまちづくりを目指します。

# 主要施策概要

## 1. 愛着のもてるまちづくり

まちの伝統・文化・産業・自然などを活かし、そして共に暮らす人たちに、皆が関心を持ち関わり合う仕組みを構築し、地域の特色を活かしたまちづくりを進めます。また、少子高齢化に向け、財政基盤の安定化と質の高い行政サービスの提供、公共施設マネジメントを進めるとともに、災害に強い社会基盤の整備や地域防災リーダーの育成などにより災害に強いまちづくりを推進します。

### 協働まちづくりの推進

#### まちづくり活動支援事業

まちづくりを行う多様な団体等のコーディネーターの育成、新たな市民活動に関する支援を行い、市民が積極的にまちづくりや市政へ参画する機会の創出を目指します。また、職員の協働意識を向上させ、全市的に市民協働を進められるよう努めます。

- ・まちづくり活動支援委託（10,650千円）  
コーディネーターの育成、市民協働イベントの実施、プロジェクトの立ち上げ・活動支援など
- ・まちづくり活動事業補助事業（12,597千円）  
市民が行う公共性、公益性のある活動に対し、補助金を交付することにより、住みよい地域社会の活性化を図る
- ・コミュニティ助成事業（3,300千円）

#### 共助のまちづくり事業

地域コミュニティの根幹である自治会の抱える課題について対策を検討していくことで、地域コミュニティを持続し、活性化していくことで共助のまちづくりを進めます。

- ・共助のまちづくり検討会経費（236千円）
- ・共助のまちづくり補助金（1,100千円）  
自治会が行う活性化、加入促進、協力連携、合併に対する補助金
- ・結（ゆい）のまちづくりポイント事業（650千円）  
市民活動への参加に対する「きっかけ」づくり、継続的な活動参加に繋がるようボランティアポイントを導入

## 人口減少対策事業

土岐市への移住者に対する助成や、空き家等の新たな所有者へリフォーム代金の補助を行うとともに、少子化対策として、結婚につながる出会いの場の創出などの支援を行います。

- ・人口減少対策事業（29,942 千円）  
移住促進チラシ作成等

## 多文化共生推進事業

外国人市民が生活者として日本人市民と共に安心・安全に暮らせる地域社会の実現のため、日本語教育や災害等を学ぶ機会の提供や環境整備を行います。

- ・多文化共生推進事業（3,653 千円）  
相談員の設置、日本語支援ボランティア養成講座等

## 地域経済基盤の安定

### 美濃焼振興事業

市内経済の活性化を図るため、地場産業をはじめとした事業者の経営基盤の安定と継続的な事業展開・事業拡大につながる支援を行います。

- ・美濃焼振興経費（16,282 千円）
  - 美濃焼・土岐市を広くPRし、地場産業である美濃焼業界の活性化を図る  
ブランド力向上事業（美濃焼のブランド力向上のため推進体制を構築、施策を立案・実施）
- ・中小企業支援事業（48,723 千円）
  - 地場産業にかかる新製品や商品の展示会・見本市などの販路開拓事業にかかる支援等
- ・販売戦略等チャレンジ協議会負担金（26,500 千円）
  - ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた美濃焼の新たな販路開拓を目指した実証実験を、土岐商工会議所、土岐市観光協会と連携し、（仮称）イオンモール土岐において実施
- ・美濃焼イベント支援事業（国際陶磁器フェスティバル美濃負担金）（2,015 千円）
- ・伝統工芸関連補助事業（2,370 千円）
- ・陶磁器試験場経費（102,807 千円）
  - 粒度分析装置更新等

## 企業誘致の促進

地域経済の活性化や雇用創出を図るため、引き続き本市への企業立地の促進に努めます。

- ・企業立地関連経費（253 千円）
- ・企業立地奨励経費（154,860 千円）

**重点****観光振興事業**

観光資源の掘り起こし・創出・磨き上げ、観光客受入環境の整備、効果的な情報発信等により市民及び関係者が参画した持続発展可能な観光まちづくりを推進します。

- ・地域資源活用推進調査事業（2,890 千円）
 

地域資源を掘り起こし再評価して磨き上げることで土岐市のイメージアップを図る
- ・レクリエーションゾーン基本構想・基本計画策定事業（17,500 千円）
 

コロナ感染防止対策として密を避けるキャンプ場やレジャー施設、リモートワークが出来る場として有効活用するため利用ニーズにあった整備を実施
- ・観光振興経費（523 千円）
- ・観光関連団体活動支援事業（11,208 千円）
- ・観光イベント等助成事業（16,600 千円）
- ・観光 PR 事業（7,199 千円）
- ・観光拠点施設運営事業（28,631 千円）

**重点****文化財の継承に向けた保存・活用推進事業**

文化財保存活用拠点（仮称）施設を建設し、美濃桃山陶や、それを生み出した本市の歴史・文化を調査・紹介するとともに情報を集積・発信し、歴史・文化を活かした地域活動やまちづくり活動を創出する「知の拠点」（歴史文化、学習、交流の拠点）として整備します。

- ・文化財保存活用拠点（仮称）整備事業基本計画策定（15,180 千円）
- ・文化財保存活用拠点（仮称）整備事業測量業務委託（3,982 千円）
- ・文化財保存活用拠点（仮称）整備委員会経費（802 千円）
- ・乙塚古墳附段戻巻古墳整備事業（59,601 千円）
- ・文化財調査・整理業務委託（22,690 千円）
- ・歴史史料整理事業（6,110 千円）
- ・織部の里整備事業（2,389 千円）
- ・歴史民俗資料等展示事業（4,243 千円）

**ふるさと応援事業**

ふるさと応援寄附金制度を通して、土岐市の将来の発展を願い応援してくれる人を増やし、集まった寄附金を活用して地域活性化に資する事業展開を目指します。

- ・ふるさと応援事業（223,896 千円）
- ※ ふるさと応援寄附金見込み額：400,000 千円

## 災害に強いまちづくり

### 防災対策・防災支援事業

激しさを増す台風や集中豪雨などにより災害リスクが高まってきており、自主防災組織の自主的な活動を支援するなど、地域での更なる防災力向上を目指します。

- ・防災事業（24,246 千円）
  - 災害時職員行動マニュアル、避難所運営マニュアルの修正等
- ・防災支援事業（10,349 千円）
  - 防災リーダー養成、自主防災力向上支援交付金等

### 安心・安全のためのインフラ整備

安心・安全に道路や橋梁を利用できるよう適正にインフラを維持管理するとともに、計画的な基盤の整備を行います。

- ・道路橋梁整備事業（1,187,332 千円）
  - 道路橋梁新設改良事業、道路橋梁維持事業、交通安全施設整備事業等
  - 陶元浅野線道路新設事業
- ・陶元浅野線街路整備事業（13,205 千円）
  - 詳細設計業務、事業認可申請等
- ・妻木南部土地区画整理支援事業（22,000 千円）
- ・配水施設改良事業（水道事業会計）（484,632 千円）
  - 土岐市の水道事業を「安心」「強靭」「持続」の観点から計画的に運営していくために、水道事業経営戦略に基づき、老朽管の更新や耐震化を進める
- ・公共下水道事業（下水道事業会計）（532,773 千円）
  - 効率的かつ経済的な下水道施設の改築・更新、重要な管路の耐震化及び処理場の改築更新と耐震化を進める

## 健全で効率的な行政運営の推進

### 重点

#### デジタル化推進事業

「自治体 DX 推進計画」及び「自治体 DX 推進手順書」に基づき、土岐市が担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術や AI 等の活用により業務効率化を図ります。

- ・デジタル・トランスフォーメーション推進事業（22,618 千円）  
自治体情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化等

#### 広報広聴事業

土岐市を知る（届く・わかる・行動を起こす）ことに資する情報発信に努めます。

- ・広報広聴経費（19,575 千円）
- ・ホームページ運用事業（19,256 千円）  
ホームページリニューアル等

### 重点

#### 脱炭素化事業

2050年カーボンニュートラルに向け、全市的に地球温暖化対策を進めるため、地域再生可能エネルギー導入目標を策定するとともに、地域の再エネ設備導入のポテンシャル調査を実施します。

- ・環境政策事業（20,761 千円）  
地域再エネ導入目標策定、再エネ設備導入ポテンシャル調査、次代の環境活動を担う人材育成支援等
- ・道路照明灯 LED 化事業（885 千円）  
リース方式により、全市的に LED 照明に交換し、省エネ効果を早期に実現する
- ・森林経営管理事業（12,416 千円）  
森林環境譲与税を活用し、地球温暖化防止や災害防止等の公益的機能を發揮させる

#### 公共施設の長寿命化対策・統廃合等

市が保有する公共施設等の多くが老朽化を迎え、施設に係る経費が増加傾向にある中、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化、再編を図ります。

- ・環境センター長寿命化事業（301,878 千円）
- ・衛生センター整備事業（114,235 千円）
- ・セラトピア土岐整備事業（空調設備整備、防水改修等）（120,190 千円）
- ・どんぶり会館吸式冷温水発生機改修工事（62,282 千円）
- ・火葬場整備工事（火葬炉設備補修等）（47,204 千円）
- ・文化プラザ整備工事（変電室機器改修等）（40,666 千円）
- ・あま池保育園解体工事（29,124 千円）

## 2. 地域を支える ひとづくり

児童・生徒の教育環境を向上し、次世代を担う人間力のあるひとつくりに努めるとともに、ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にしながら地域の活性化に貢献する人材の育成に努めます。

### 教育力の向上

#### 重点

#### GIGAスクール構想におけるICT教育推進事業

文部科学省の「GIGAスクール構想」を受け、市内小中学校の無線LAN環境、1人1台のタブレット端末、大型提示装置等のICT環境整備が完了したため、今後は、教師の指導力の向上と子どもたちの学力の向上を図ります。

- ICT教育関連経費（1,980千円）
  - 教職員向け研修経費、授業目的公衆送信補償
- プログラミング教育用教材購入（2,900千円）
- デジタル教科書導入（5,051千円）
- 学習支援ソフト等使用料（6,687千円）

#### 子どもの力を伸ばす教育

児童・生徒の教育環境の向上に努め、学習意識を高める機会を設け、人との絆の中で、ふるさとへの愛着と誇りをもち、夢を実現できる人の育成を目指します。

- コミュニティスクール推進事業（4,200千円）
  - 学校と地域との連携体制を整理・強化するとともに、学校と地域が一体となって地域社会人を育成
- 外国人英語指導助手招致事業（21,579千円）
  - 外国人英語指導助手4人を招致し英語教育の充実を図る
- きめ細かな学校支援事業（87,699千円）
  - 児童生徒が学校生活へスムーズに適応できるよう、また、基礎的・基本的な学力を身につけるため、サポートティーチャー等の支援員を配置
- キャリア教育推進補助事業（350千円）
- 外国人児童・生徒の初期指導教室（5,016千円）
  - 日本に来て間もない日本語が話せない外国人児童生徒に対し、日本語指導と生活習慣を学ぶための支援及び指導を行う
- イングリッシュキャンプ（961千円）
- 心理検査 hyper-QU・NRT検査(全国標準学力検査)（4,847千円）
  - 効果的な学習支援や集団内に安心して所属できる支援を充実させるために実施

## 児童生徒の教育環境の充実

児童生徒や教職員が安心して学校施設を利用できるよう快適な教育環境の整備に取り組みます。

- ・小学校整備工事（58,332 千円）
  - 小学校施設長寿命化工事、施設修繕工事、土岐津小プール改修工事
- ・中学校整備工事（20,117 千円）
  - 施設修繕工事

## 重点

### 「読書に親しむまち 土岐市」読書推進事業

土岐市読書推進計画に基づき、世代別に読書に親しむ機会を提供することで「読書に親しむまち 土岐市」の実現を目指します。

- ・読書推進事業（2,445 千円）
  - 世代別に読書に関連する講座・イベント等を開催し、読書に親しむ機会を提供
- ・図書館経費（44,663 千円）
  - 図書館改革事業、ブックスタート事業、読書っこクラブ事業等
- ・図書購入費（図書館）（18,462 千円）
  - 電子図書コンテンツ（4,862 千円）等
- ・図書購入費（保育園、こども園、幼稚園）（420 千円）
- ・学校図書室司書支援員（6,529 千円）
  - 学校図書室司書を増員（2 人→6 人）し、子どもたちが利用しやすい環境づくりや学習支援を行う
- ・学校図書室司書選定図書購入（1,400 千円）

### 科学イベント「土岐で科学を学ぶ日」実施事業

「科学に親しむまち」として、子どもから大人まで科学に親しむ環境づくりに取り組み、特に子どもの科学への関心を高め、学習意欲の向上を目指します。

- ・「土岐で科学を学ぶ日」実行委員会負担金（3,279 千円）

## 子育て環境の充実強化

### 重点

#### 土岐市多機能型子育て支援拠点事業

子育て家庭の親子が相互に交流を図るとともに、子育ての相談や情報の提供等を行うことにより、誰もが安心して子育てできる地域社会を創出します。

- ・地域子育て支援拠点事業（32,601 千円）
  - 子育て親子の交流の場の提供と交流を促進
- ・利用者支援事業（3,770 千円）
  - 利用者の個別ニーズを把握し、関係機関との利用調整
- ・ファミリー・サポート・センター事業（4,220 千円）
  - 会員相互の育児に関する援助活動を調整

#### 放課後教室

放課後における児童の安全・安心な居場所を確保します。

- ・放課後教室事業（107,094 千円）
  - 令和4年度から開室時間を午後6時から午後7時まで延長します。

#### 保育環境の充実

保護者が安心して子どもを預けることができるよう、保育施設や保育環境の充実に取り組みます。

- ・泉こども園整備事業（136,854 千円）
  - 泉こども園の建設（継続費）
- ・保育所整備事業（5,407 千円）
- ・こども園整備事業（1,700 千円）
- ・幼稚園整備事業（20,327 千円）
- ・児童館整備事業（3,628 千円）
- ・療育センター整備事業（1,973 千円）

### 3. 地域住民の いきがいづくり

生活習慣病予防やスポーツ振興、生涯学習活動を支援し、健康寿命の延伸を図るため、地域医療の確保と包括的なケアシステムを構築するとともに、就労、学習、趣味、スポーツなど多様ないきがいづくりをサポートします。

#### 市民の健康いきがいづくり

##### 重点

##### 全世代健康寿命延伸事業 ときげんきプロジェクト

すべての世代が健やかな生活習慣を形成し、いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるまちを目指し「ときげんきプロジェクト」を推進します。

###### ①運動習慣づくり

- ・健康づくり事業（6,089千円）
  - ときげんき体操の普及等
- ・生涯スポーツ推進事業（1,660千円）
  - インターバル速歩、運動教室等
- ・スポーツ指導員設置（2,240千円）
- ・アクティブ・チャイルド・プログラム（2,472千円）
  - 子供たちが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得することを目指した運動プログラム

###### ②フレイル予防

- ・介護予防普及事業（介護保険特別会計）（17,901千円）
  - はつらつ元気塾、ふれあい生きサロン、地域フレイル予防活動支援補助金等

###### ③食生活の改善

- ・健康教育相談事業（704千円）
  - 食生活改善事業、骨粗しょう症予防教室等
- ・食生活改善推進委員育成事業（911千円）
- ・ときげんきっ子給食事業（5,610千円）
  - 身体の発育期にある幼稚園、小学校、中学校の時期から日常生活における食事について正しく理解してもらう。

###### ④歯と口腔の健康づくり

- ・歯科保健事業（2,368千円）
  - 妊婦歯科検診、歯周病検診、フッ化物塗布等

###### ⑤疾病予防・重症化予防

- ・健康診査事業（46,216千円）
- ・特定健康診査事業（国民健康保険特別会計）（47,794千円）
- ・疾病予防事業（国民健康保険特別会計）（10,808千円）
- ・健康診査事業（後期高齢者医療特別会計）（26,753千円）
- ・一体的な取組事業（後期高齢者医療特別会計）（8,936千円）
  - すこやか健診・後期人間ドックの結果を踏まえた低栄養防止・重症化予防等

## 地域医療の確保

重点

### 地域医療体制の確保

誰もが必要なときに安心して質の高い医療サービスを受けられるよう地域医療体制や救急医療体制の充実を図ります。

- ・東濃中部病院事務組合負担金（248,461 千円）
- ・病院事業会計繰出金（1,005,839 千円）